

評価基準の説明 【エポキシ樹脂】

1. 評価対象

「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和7年版 章 節に規定する可とう性エポキシ樹脂、パテ状エポキシ樹脂およびエポキシ樹脂モルタルとする。

2. 引用している規定

- (1) 標仕 令和7年版
- (2) 日本産業規格

- ・ JIS A 1439 : 2022 「建築用シーリング材の試験方法」
- ・ JIS A 6024 : 2015 「建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂」
- ・ JIS A 6916 : 2021 「建築用下地調整塗材」
- ・ JIS K 6251 : 2023 「加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—引張特性の求め方」
- ・ JIS K 6833-1 : 2008 「接着剤—一般試験方法—第1部：基本特性の求め方」
- ・ JIS K 7171 : 2022 「プラスチック—曲げ特性の求め方」
- ・ JIS K 7181 : 2011 「プラスチック—圧縮特性の求め方」
- ・ JIS R 5201 : 2015 「セメントの物理試験方法」

3. その他

- (1) 「表示項目」とは、評価項目ではないが、当該材料を選定する場合に必要な情報等であり、各製品個々に形状、性能値等を示しておく必要があるものをいう。
- (2) 「品質・性能」欄の“申請者の規定による。”とは、評価基準としての規定がないため、申請者の規定によることとする。なお、審査は、記入された申請者の規定について、社内規定等と照合して確認することとしている。

評価基準

エポキシ樹脂 [可とう性エポキシ樹脂]

項目		品質・性能		備考	
材 料	エポキシ樹脂	申請者の規定による。			
	硬化剤	申請者の規定による。			
品質	外観	目視で認められる異物の混入がないこと。			
性能	押し出し性 (秒)	低温条件D 5 ± 1℃	60 以下		
	スランブ B 法 (mm)	高温条件C 70 ± 2℃	3 以下		
	引張接着性	引張強さ (MPa)	標準条件E 23 ± 2℃	1.0 以上	
		破壊時伸び (%)	標準条件E 23 ± 2℃	10 以上	
	引張特性 C 法	引張強さ (MPa)	標準条件E 23 ± 2℃	1.0 以上	
			低温条件E 0 ± 3℃	1.0 以上	
			加熱劣化条件 80 ± 3℃	1.0 以上	
		破壊時伸び (%)	標準条件E 23 ± 2℃	30 以上	
			低温条件E 0 ± 3℃	30 以上	
			加熱劣化条件 80 ± 3℃	30 以上	
	加熱減量 B 法	質量変化率 (%)	高温条件D 80 ± 3℃	5 以下	
密度 [表示項目]		申請者の規定による。			
試験方法	1. 試験の一般事項は、JIS A 6024 の「5.1 試験室の状態」、「5.2 試験用基板」、「5.3 試料の調製」、「5.4 試験の回数」および「5.5 試験値の丸め方」による。 2. 押し出し性試験は、JIS A 6024 の「5.12 押し出し性試験」による。 3. スランブ試験 B 法は、JIS A 6024 の「5.10 スランブ試験 B 法」による。 4. 引張接着性試験は、JIS A 6024 の「5.15 引張接着性試験」による。 5. 引張特性試験 C 法は、JIS A 6024 の「5.19 引張特性試験 C 法」による。 6. 加熱減量試験 B 法は、JIS A 6024 の「5.27 加熱減量試験 B 法」による。 7. 密度試験は、JIS A 6024 の「5.29 密度」による。				

評 価 基 準

エポキシ樹脂 [パテ状エポキシ樹脂]

項 目			品 質 ・ 性 能	備 考
材 料	エポキシ樹脂		申請者の規定による。	
	硬化剤		申請者の規定による。	
品 質	外 観		目視で認められる異物の混入がないこと。	
性 能	接 着 強 さ	A 法 (MPa)	標準条件B 23 ± 2°C	6.0 以上
	曲 げ 強 さ	B 法 (MPa)	標準条件B 23 ± 2°C	30.0 以上
	圧 縮 強 さ	A 法 (MPa)	標準条件B 23 ± 2°C	50.0 以上
	硬 化 収 縮 率	(%)	標準条件B 23 ± 2°C	3.0 以下
	初 期 硬 化 性	(MPa)	標準条件F 23 ± 2°C	2.0 以上
試 験 方 法	<p>1. 試験の一般事項は、JIS A 6024の「5.1 試験室の状態」、「5.2 試験用基板」、「5.3 試料の調製」、「5.4 試験の回数」および「5.5 試験値の丸め方」による。</p> <p>2. 接着強さ試験 A法は、JIS A 6024の「5.13 接着強さ試験 A法」による。</p> <p>3. 曲げ強さ試験 B法は、JIS A 6024の「5.21 曲げ強さ試験 B法」による。</p> <p>4. 圧縮強さ試験 A法は、JIS A 6024の「5.22 圧縮強さ試験 A法」による。</p> <p>5. 硬化収縮率試験は、JIS A 6024の「5.25 硬化収縮率試験」による。</p> <p>6. 初期硬化性試験は、JIS A 6024の「5.28 初期硬化性試験」による。</p>			

評価基準

エポキシ樹脂 [エポキシ樹脂モルタル]

項目		品質・性能	備考
材料	エポキシ樹脂	申請者の規定による。	
	硬化剤	申請者の規定による。	
	骨材	申請者の規定による。	
品質	外観	目視で認められる異物の混入がないこと。	
性能	だれ	標準条件C 23 ± 2°C	形状に異常がなく、だれが生じないこと。
	接着強さ B法 (MPa)	標準条件D 23 ± 2°C	1.0以上
		接着耐久性 条件	1.0以上
	曲げ強さ A法 (MPa)	標準条件D 23 ± 2°C	10.0以上
	圧縮強さ B法 (MPa)	標準条件B 23 ± 2°C	20.0以上
試験方法	1. 試験の一般事項は、JIS A 6024の「5.1 試験室の状態」、「5.2 試験用基板」、「5.3 試料の調製」、「5.4 試験の回数」および「5.5 試験値の丸め方」による。 2. だれ試験は、JIS A 6024の「5.11 だれ試験」による。 3. 接着強さ試験 B法は、JIS A 6024の「5.14 接着強さ試験 B法」による。 4. 曲げ強さ試験 A法は、JIS A 6024の「5.20 曲げ強さ試験 A法」による。 5. 圧縮強さ試験 B法は、JIS A 6024の「5.23 圧縮強さ試験 B法」による。		